

第33回大阪労働局公共調達監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和6年1月24日（水）大阪合同庁舎第2号館 9階 共用A会議室	
委員（敬称略）	委員長 富田 安信 同志社大学社会学部教授 委員 常谷 麻子 弁護士 委員 西山 孝司 税理士	
審査対象期間	令和5年4月1日～令和5年9月30日契約締結分	
抽出案件	6件 内 訳 （公共工事） ・競争入札案件 1件 うち、低入札価格調査案件 1件 ・随意契約案件 1件 （物品・役務） ・競争入札案件 4件 うち、契約金額が500万円以上の案件 3件 うち、参加者が1者しかいないものの案件 1件 ・随意契約案件 0件	
報告案件	0件 （備考）「報告案件」とは、監視委員会において不適切等と判断され、意見の具申又は勧告がなされたもの。	
審議案件	6件	
委員からの意見・質問 に対する回答等	意見・質問	委員からの意見・質問に対する回答等
	下記のとおり	下記のとおり

「設置要綱第6条に基づき抽出された審議案件の審議」

【審議案件2】競争入札・低入札案件

大阪労災特別介護施設直流電源装置更新工事

意見・質問	回 答
<p>入札・契約手続きの状況等、説明を行ってください。</p>	<p>大阪労災特別介護施設とは、労働災害によって重度の障害を負い、在宅での介護が困難な労災被災者の方々に介護サービスを提供する施設になり、国が設置し、一般財団法人労災サポートセンターに運営を委託しています。</p> <p>本工事については、緊急時に使用する防災設備における蓄電池設備が設置以来14年経過し、耐用年数を超過していること、作動に必要な直流電源を流す際に必要不可欠な整流器という機械が設置後24年経過し、耐用年数が経過しており、このまま放置をした場合、故障や停電の際に動作不良により作動しない状況が考えられ、二次災害が発生するおそれがあると業者から指摘されていること、現在設置の蓄電池54台のうち3台の内部抵抗値が警告値に達しており、寿命超過のためメーカーによる個別交換ができないと回答があったことから、この直流電源装置の更新工事を行うべく厚生労働本省に予算要求を行ったところ、今般予算配賦がなされたため本工事を実施しています。</p>
<p>落札率が低いですが施工に問題はなかったのか。</p>	<p>本件は最低入札価格が低入札価格調査基準額を下回っており、低入札価格調査に基づく調査を実施しております。調査の結果、不当に低価格となったものではなく、当該入札価格により仕様書の内容に適合した工事の施工が可能と判断しました。</p> <p>また、設計事業者が見積りを取ったものと同じメーカーの部材を調達しておりますので、特に質の面においても問題がないと受け止めています。</p>
<p>下請業者への調査の有無について。</p>	<p>現在、低入札価格調査に基づく調査は実施していますが、下請業者から直接見積書などは徴していません。下請業者へのしわ寄せの有無等実態把握については、今後の検討課題とさせていただきます。</p>

【審議案件4】随意契約案件

あべのわかものハローワーク原状回復工事

意見・質問	回 答
<p>入札・契約手続きの状況等、説明を行ってください。</p>	<p>本件については、あべのわかものハローワークという施設が昨年度末で廃止となり、入居していたビルを退去するに当たり、賃貸借契約に基づき室内を原状に戻すべく原状回復工事を行ったものです。</p> <p>契約方法については、当局のほうから原状回復工事を実施するに当たり、入居するビルの所有者に工事の申出を行ったところ、施工業者を指定されたことから、会計法第29条の3第4項「契約の性質又は目的が競争を許さない」として、当該相手方と随意契約により契約を締結しています。</p>
<p>他の施設の原状回復工事に比べ高額となった理由について。</p>	<p>入居の際、6つのテナントに分けている壁を撤去したうえ、更衣室やセミナールームに新たな壁を設置し、消防設備関係等も変更した上で入居しました。</p> <p>今回、退去するに当たっては、当然そういった壁を元に戻す必要があり、壁の復旧、消防設備関係の改修等工事を行ったことから、他の案件と比べ高額となっています。</p> <p>また、物価上昇等による資材費等の高騰も影響していると考えられます。</p>
<p>【審議案件8】競争入札案件 令和5年度大阪労働局における自動扉保守業務</p>	
意見・質問	回 答
<p>入札・契約手続きの状況等、説明を行ってください。</p>	<p>本件については、当局管下の労働基準監督署及び公共職業安定所に設置しています自動扉について、常に良好な状態で使用する必要があること、また、センサー等の不具合による事故等を未然に防ぐという観点から、定期的な保守管理を行う必要があるということで、年間契約で自動扉の保守業務を委託しているものです。</p>
<p>落札率が低い理由は。</p>	<p>他の案件も含め施設の保守契約については、従前はこの自動扉と同じように落札率がかなり低い状況が続いておりました。そういった観点から、より市場価格に近づく予定価格の積算を検討してきたところです。ただ、この自動扉については過去一者応札が続いており、市場価格の把握が困難であることが、落札率が低い要因であると考えています。</p>

【審議案件 4 4】 競争入札案件
 令和 5 年度大阪労働局における職員・非常勤職員の健康診断及び労働基準監督官採用試験に係る身体検査業務委託（単価契約）

【審議案件 6 6】 競争入札案件
 令和 5 年度大阪労働局における職員・非常勤職員の婦人がん検診業務委託（単価契約）

意見・質問	回 答
<p>入札・契約手続きの状況等、説明を行ってください。</p>	<p>両案件とも調達内容は健康診断です。審議案件第 44 号につきましては、人事院規則 10-4 に規定されております定期健康診断の契約、審議案件 66 号の婦人がん検診については、人事院規則 10-4 に規定されていますが、臨時健康診断という位置づけとなります。また、労働基準監督官の試験については健康診断が規定されており、それは健診項目が定期健康診断と同じであるため、審議案件第 44 号と一括して調達を行っています。</p>
<p>定期健康診断と臨時健康診断を分けて入札した理由は。</p>	<p>これまでは一括して調達を行っていました。ただ、令和 4 年度以前は一部短時間の非常勤職員については臨時健康診断を対象外としていたところ、同一労働同一賃金の原則や、厚生労働本省のほうから、職員と同様に非常勤職員にも人事院規則を適用して差し支えないという回答もあったことから、令和 5 年度から非常勤職員も臨時健康診断の対象としました。非常勤職員も臨時健康診断を受診することになると、規模がかなり大きくなります。</p> <p>毎年、この健康診断の調達につきましては一者応札が続いており、その応札者に事前に臨時健康診断の人数が増加することに対して、受入れは可能か確認を行った結果、対応できないとの回答があり、一者応札が続いている応札者から受入れができないとの回答になると、他に請負可能な業者がないのではないかと考え、定期健康診断と臨時健康診断を分けて調達しようと考えました。</p>

【審議案件 4 8】 競争入札案件
 令和 5 年度中小企業・小規模事業者等に対する働き方改革推進支援事業（都道府県センター事業）

意見・質問	回 答
-------	-----

<p>入札・契約手続きの状況等、説明を行ってください。</p>	<p>昨今働き方改革を官民一体で推進しているところですが、雇用の7割を占める中小企業・小規模事業者等においても働き方改革を着実に実施し、多様で柔軟な働き方が選択できる魅力ある職場づくりを行っていくことが重要になります。</p> <p>こういった観点から、長時間労働の削減、同一労働同一賃金の実現、また生産性向上による賃金の引上げ、人手不足解消に向けた人材確保等と様々な課題に広く対応し、働き方改革に向けた取組、また、多様で柔軟な働き方を選択できる職場環境を整備するための取組を促すことを目的に、働き方改革推進支援センターを設置し、関連法律の周知徹底、労務管理の適正化、経営の改善や、労働生産性の向上に関する取組等について、労務管理等の専門家による総合的な支援サービスを行うというのがこの事業の目的になります。</p> <p>入札については、最低価格落札方式ではなく、当局から実施要綱等の資料を提示し、事業者からそれに対する提案書の提示を受け、提案書について、外部委員2名を含む4名の技術審査委員会を開催し、提案書の評価をしてもらい、技術審査委員会で得られた技術点と価格を総合的に評価する総合評価落札方式を採用し、落札業者を決定しています。また、今回は予定価格が1,000万円を超える請負契約となりましたので、併せて低入札価格調査制度を設けています。</p>
<p>落札率が低い理由は。</p>	<p>センターの設置場所が自社で所有するビルの中に設置することで賃料がかからない点、セミナーをオンラインで行うことで会場借料が削減できるという点、設備等の新規費用の負担も不要という点などが考えられます。</p>
<p>事業結果の評価について。</p>	<p>委託事業の目標値があり、例えば相談窓口で年間何千件の相談を受けるとか、このメイン事業である中小企業に対する個別支援なども目標値があり、それぞれを委託側である労働局が監督し、連絡調整会議などの機会に進捗状況を把握します。ノウハウのない事業者ではなかなか事業が進まないことがありますので、そこは労働局で必要な支援をし、年度終わりにはしっかり目標値の実績を上げてもらえるよう支援をします。</p>